

おだかぐらし通信



2024年5月発行
第18号 小高区地域振興課
おだかぐらし担当
TEL: 0244-44-6716



今回の通信から「おだかぐらしコンシェルジュ」の本田が作成担当になりました！
小高の情報をたくさん発信していきますので、よろしくお願いいたします♪

令和5年度の小高区への移住者 52人

令和5年度は小高区を知ってもらうための情報発信や、実際に小高区に来ていただくツアーなどを企画し、52人が移住しました。

移住相談件数



58件

おだかぐらし体験ツアー

現地ガイドが案内する
オーダーメイド型ツアーなど

ツアー参加者:116人

移住促進協力店

小高区の飲食店などに
移住情報コーナーを設置

32店舗

おだかぐらしプロモーション

おだかるWEBサイト

- ・記事掲載 16本
- ・おだかるぴーぷる 16本 など

▼WEBサイト記事タイトルの一部をご紹介します！

気になる記事は、WEBサイトでチェック♪

- #やりたいことを無理なく、楽しく、自分らしく。
- #小高とお酒と、造るひと。
- #5つの”けん”をはじめよう！
- #働く場所から、暮らす場所へ。
- #みんながチャレンジできる場所



地域のお世話人

小高区への移住者などを対象に
地域住民がサポートする制度

利用者32人



▲地域のお世話人で
農業体験を実施

おだかるWEBサイトはこちらから▲

おだかぐらし通信

発行7回



★大馬1日所長と、おだかをまち歩き

2024年3月
大馬とまち歩き▶

小高区福祉センターの1日所長となった大馬(だいま)と一緒にゴミ拾いをしながら、地区の危険な場所を確認し、日頃からの地域防災を意識する「まち歩き」に参加しました。小高川沿いの土手にはふきのとうが顔出していたり、小高神社では、しだれ桜が咲いていたり、春を感じながらの散歩になりました❀

今年10月には東部・中部・西部地区で開催予定。

愛犬も一緒に参加できるそうなので、動物との触れ合いを通じて新たな交流が生まれるのではないかなと思います❀

散歩を楽しみながら、日頃なかなか意識しない

”大事な防災箇所”を確認するイベント、ご家族・ご友人などと、ぜひ参加してみたいかがでしょうか◎

詳しくは、小高区福祉サービスセンター(0244-44-5970)までお問合せください♪



～ やってみよう! ～

小高ウェルカムミッション

小高駅に、どーんと貼られた大きな地図。あちこちに赤や黄色のカードが下がり、そこには人の書いた文字。これは、小高ウェルカムミッションの「みんなで作る小高マップ」。



ウェルカムミッション時に使用するアイテム▶

▲ミッションの内容を考えたのは小高の住民。南相馬市出身者 / 市外出身者それぞれの目線で考えたクイズをもとにできあがりました。

小高の来訪者が町を散策しながら地域とつながるきっかけになるよう作られました。参加者はミッションカードを持ちながら、例えばお店でおススメを聞いたり、小高の名所で過ごしたりしながらコメントを書き込みます。それが自ずと、町の情報となっていくのです。こう聞くと、地図もミッションも来訪者が楽しむためのもので、住民は関係ないんじゃない?と思われた方もいるかもしれませんが、でも、ミッションカードを見てみると「地元だけ行ったことがない、やったことがない」というものも。

例えば、「富士タクシーの運転手さんにおススメを聞く」というミッションは、ここに住んでいたらなかなか取り組めなさそうです。でも、小高を知り尽くした運転手さんのおススメって、気になる.....そんな時にはミッションカードをペラリとめくって、体験した方のコメントを見て、知る楽しみも味わえます。「小高川の夕陽を撮る」といった、日々この場所で暮らしているからこそ取り組みやすいミッションも！私たち住民のコメントで、来訪者が小高で過ごす時間がより良いものになるといいですね。

マップは小高駅のほか、小高交流センター、アオスバシで楽しめます。

気候がよくなってきたこの時期、おさんぽついでに体験してみたいはいかがでしょうか！

(書き手: 蒔田志保)

★ 未来農業交流スペース「TSUMUGI」4月オープン！

旧鳩原幼稚園を改修した「TSUMUGI」は、4月に開校した未来農業学校の拠点となり、福島県内・県外から入学した15名の学びの場となります。



▲TSUMUGIにておだかぐらし担当について説明してきました！

< 入学生徒さんへインタビュー! >

- ① 農業経験はありますか？ ② 今後栽培したい野菜は？
- ③ どんな学校生活を送りたいですか？



● 三尾 瞭太郎さん(県外出身)

- ① 未経験
- ② コギク、ブドウ、トマト
- ③ 花が好きなので、将来栽培し、南相馬市で花を育てたい。農機具のメンテナンスなど細かなところまでしっかりと勉強したい。

● 木村 淳さん(県内出身)

- ① 未経験
- ② アスパラ、ナス、キュウリ
- ③ 人と人との繋がりで活かされていることをよく感じるから、農業学校でも人との繋がりを大事に過ごしていきたい。

★ おだかぐらし担当より

今回は、第19号/7月15日です

新年度・新生活がスタートしたという方も多い時期、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

新緑も深くなってきて、お出かけに行きたくなる季節になってきました☀

今年から5月開催となった相馬野馬追🐎！！
5月25～27日は、熱き祭りを楽しみましょう！

相馬野馬追情報のチェックはこちら！



相馬野馬追執行委員会ホームページ



2023年撮影

